

(共同リリース)

2026年10月29日
日本航空株式会社
スカパーJSAT株式会社

JALとスカパーJSAT、社会課題の解決に向けた業務提携基本契約を締結

～衛星データをはじめとする双方のアセットを融合したソリューションの創出を目指す～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長執行役員:鳥取 三津子、以下「JAL」)とスカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:米倉 英一、以下「スカパーJSAT」)は、衛星データを活用した地域課題の解決と新規事業の創出に向け、業務提携基本契約を締結しました。

両社は、スカパーJSATが持つ衛星データと解析技術に、JALが航空事業で培った安全に関する知見や地域とのネットワークを組み合わせ、地域の課題を把握し対策の立案を支援するソリューションを共同で開発します。

検討テーマの一つとして、現在社会問題となっているヒグマなどの野生鳥獣の出没に伴う住民や旅行者への被害を未然に防ぐため、衛星画像から得られる植生などの環境情報を活用し、出没リスクに関係する地域の状況を可視化するソリューションを検討しています。



■背景と目的

昨今、人口減少や労働力不足、自然災害、インフラの老朽化といった社会課題への対応が求められる中で、衛星データは広範なエリアを継続的に観測し、地域の状況把握や異常検知を行う手段として期待されています。

スカパーJSATは、光学衛星、SAR衛星(*1)、熱赤外衛星などによる地球観測データを活用し、官公庁や民間企業にさまざまなソリューションを提供してきました。

JALは、航空事業で培った安全基準や航空技術の知見、ノウハウを次世代モビリティ事業へと応用し、新しいビジネスの創出、地域活性化や社会課題解決に取り組んでいます。

航空機向け衛星通信サービスにおいて協業してきた両社が、宇宙領域においても協業の余地がないか模索するなかで、それぞれが有するネットワークやデータ、解析技術や知見を掛け合わせることで新たな社会価値を創出できると考え、本業務提携に至りました。

(*1)合成開口レーダー(Synthetic Aperture Radar)を搭載し、地表にマイクロ波(電波)を照射して、その反射する電波を捉えて画像を取得する人工衛星。雲や噴煙の影響を受けにくく、昼夜を問わず観測できることが特長。

■業務提携の主な内容

本提携では、衛星データをはじめとする各種データを活用し、社会課題の解決に資するソリューションの検討・開発を進めます。

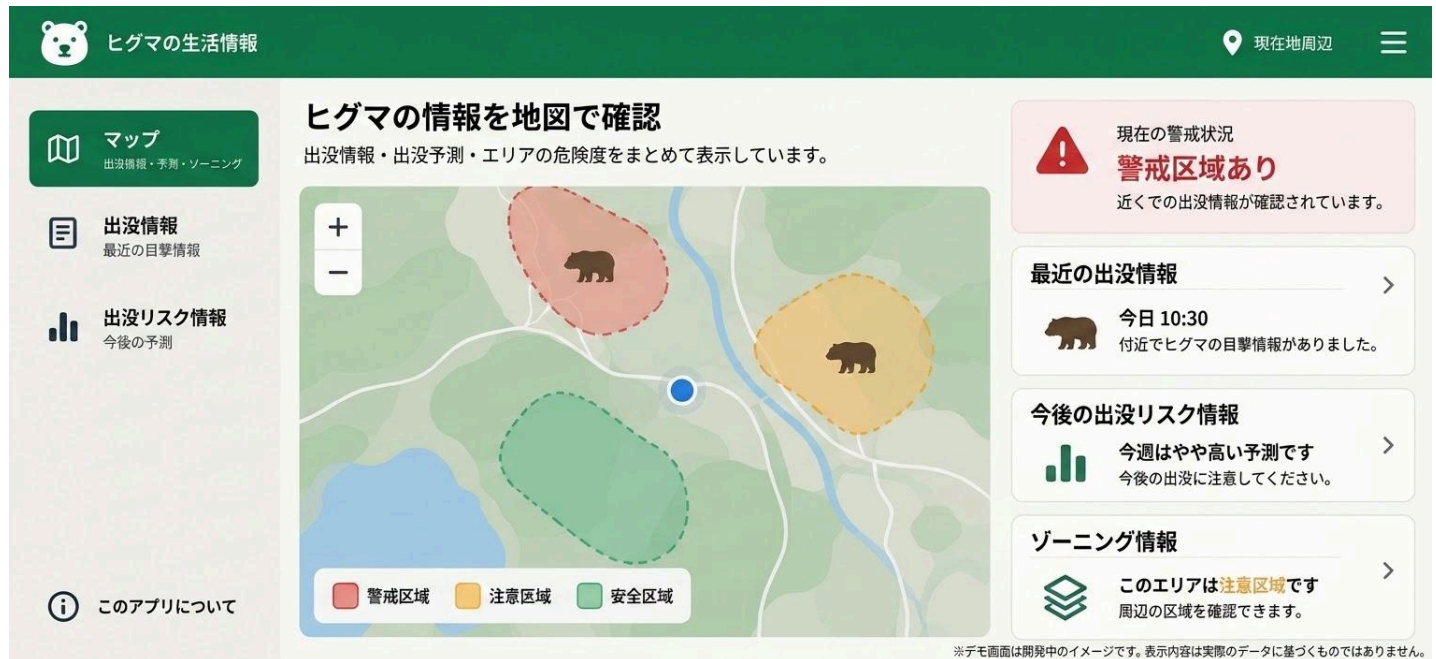
- 社会課題およびニーズの調査
- 衛星データを活用したソリューションの構築
- 官公庁、自治体、民間企業などと連携した実証
- 実証結果を踏まえた事業モデルの構築、実装

具体的な取り組みの一つとして、両社は現在、ヒグマなどの野生鳥獣との共生と地域社会の安全の両立を実現するソリューションの開発を検討しています。

近年、野生鳥獣が都市部に出没するケースが増加しており、住民や旅行者の安全確保に加え、観光やイベントなど地域の経済活動への影響も課題となっています。

両社は、衛星画像解析から得られる植生データなどを組み合わせ、出没リスクに関する環境情報を可視化して地方自治体などに提供することで、地域の状況の事前把握や対策立案に活用いただき、これまでにない「予防」の観点から住民や旅行者の安全確保と地域経済活動への貢献を目指します。

すでに地方自治体や関係機関へのヒアリングを実施しており、地域の実情を踏まえたソリューションの構築と実証計画を進めています。



ヒグマの出没情報や出没リスクを予測するソリューションイメージ

■今後の展望

両社は、野生鳥獣対策に関する取り組みを一つの起点として、防災・減災、森林管理、環境モニタリング、インフラ管理など、衛星データの活用が期待されるさまざまな領域での展開を検討します。また、衛星データに限らず、多様なデータを連携させることで、より高度な分析や意思決定を支援するサービスの創出も目指します。

JALとスカパーJSATは、空と宇宙、それぞれの知見を生かした新たな価値の創出に取り組み、データ活用を通じて地域課題の解決と安全・安心で持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

日本航空について

日本航空(JAL)は、1951年に設立され、**oneworld**®アライアンスのメンバーとして、2026年3月時点で234機の航空機を所有し、提携パートナーとともに世界71カ国・413空港へのネットワークを提供しています(*)。Skytrax社の”5-Star Airline”、北米を拠点とする航空非営利団体 APEXの”World Class”にも認定、世界トップクラスのエアライングループの一つとして、安全を基盤に「JALビジョン2035」の実現に向けて新たな歩みを進めています。

ブランドスローガン「Soaring Together」のもと、日常も含めたあらゆるシーンで「五感をくすぐる本物の体験・新たな一歩への後押し・人生を豊かにするつながり」を、お客さまに感じていただけるエアライングループを目指しています。

詳細はWebサイトをご覧ください。 <https://www.jal.com/ja/>

(*)グループ航空会社を含むネットワークを記載しています。

スカパーJSATについて

スカパーJSATは、宇宙とメディアを両輪とする「宇宙実業社」です。宇宙事業では、航空機・船舶向けインターネットや、災害時にもつながる通信サービスを提供しています。また、衛星画像データを活用し、安全保障、防災、環境、インフラ管理などの分野で、社会課題の解決に役立つ情報を提供しています。

メディア事業では、「スカパー！」の放送・配信事業や、光回線による再送信サービスなどを提供する光アライアンス事業、映像関連の設備・技術を活用したメディアソリューション事業、アニメを中心とした映像コンテンツのIP事業を展開し、事業の多角化を進めています。

2026年4月に持株会社と事業会社を統合し、新たな価値創出に挑戦し続けます。

詳細はWebサイトをご覧ください。 <https://www.skyperfectJSAT.space/>

以上